

## 平成 31 年度 (2019 年度) CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業 注力課題

※ 「地域循環共生圏」の実現に特に有効な課題を注力課題として設定。

※ 注力課題に該当しない課題であっても、本事業の対象であることを説明できるものは応募することができます。

分野	番号	技術の内容・性能
Ⅰ交通	1-①	地域の再生可能エネルギーの活用に向け、水素の分離・回収・輸送・貯蔵等の各段階における省エネ・低炭素化を通じた燃料電池車両の利用促進に直接的に資する技術の開発・実証
	1-②	電動又は燃料電池車両の航続距離向上又は省エネ化を実現する革新的技術の開発・実証
Ⅱ建築物等	2-①	建築物の断熱性能の向上、ヒートブリッジ低減により、空調負荷の軽減を実現し、人と自然に優しい技術の開発・実証
	2-②	業務効率改善及びオフィスの省エネ化に資する革新的 AI・IoT 等技術の開発・モデル地域での実証
Ⅲ再生可能エネルギー	3-①	再生可能エネルギー発電・熱利用設備の年間発電・熱利用量を増加させる技術の開発・実証
	3-②	地域の再生可能エネルギー由来水素から電気及び熱をより高効率に取り出す燃料電池の開発及び実証
	3-③	海沿い地域のエネルギー地産地消に資する海洋エネルギー発電の技術開発及びモデル地域での実証
	3-④	地域内での再生可能エネルギーの融通に向け、既存の蓄電池とは異なる場面で活用できる、新たな蓄電池・キャパシタの開発及び実証
Ⅳバイオマス・循環資源	4-①	日本の各地域の個別集落内で発生する木質バイオマスの量・質に対応した低コストで総合効率の高いコージェネレーションシステムの開発・実証
	4-②	従来の木質バイオマスに加え、各地域で発生する性状の異なるバイオマスの利用が可能な、自動運転機能付きの小規模な熱利用システムの低コスト化に関する開発・実証
	4-③	高効率のエネルギー回収率を実現し、かつ低コスト（同規模の単純焼却炉から 2 割程度低減）の、各地域へのエネルギー供給を見据えた廃棄物処理施設の開発・実証
	4-④	各地域ごとに発生する排水・下水・廃棄物等を活用した高純度なバイオガスの生成・地域内利用システムの開発・実証
Ⅴ社会システム革新	5-①	地域内の電力需給調整に用いる蓄電池の低劣化・長寿命化に資する充放電管理技術・システム等の開発及び実証
	5-②	変動性再生可能エネルギーの割合が多いオフグリッドのコミュニティ内において、仮想同期発電機等により、秒オーダーの電力需給変動に対処する技術の開発及び実証
	5-③	地域熱供給システムの低コスト化・低温動作化等の技術開発及びモデル地域での実証
	5-④	情報通信技術等の活用により、輸送機器の運行・制御の改善や利用方法の高効率化等に資する技術開発・実証
	5-⑤	再生可能エネルギーを主体とした自家消費される電力の需給管理システムと自動デマンド制御技術（ADR）による最適制御の開発・実証